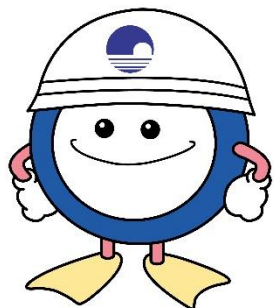


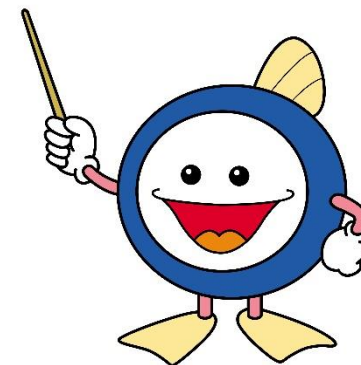
令和5年度 第5回
行田市下水道事業運営審議会



社会資本総合整備計画の 事後評価について



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」



下水道マスコットキャラクター
「スイスイ」

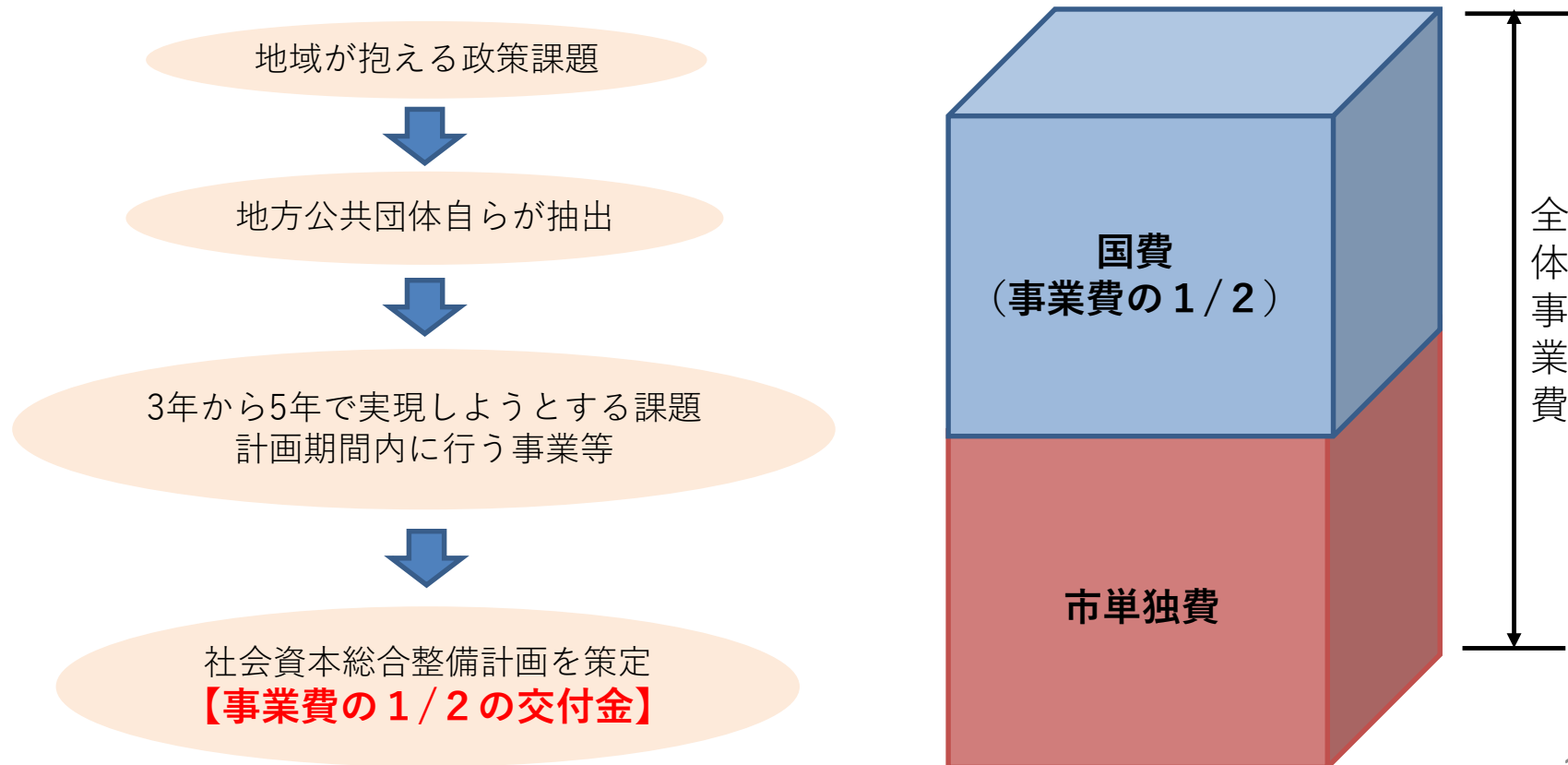
行田市 都市整備部 下水道課

令和6年3月13日(水)

社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金

- **社会資本整備総合交付金**は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を活かせる総合的な交付金として平成22年に創設。
- **防災・安全交付金**は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度に創設。

※出典：社会資本整備総合交付金の概要（国土交通省）



社会資本総合整備計画の事後評価

○事後評価の実施・・・交付期間の終了後又は交付期間の最終年度中

評価の

- 透明性
- 客観性
- 公正さ

学識経験者等の第三者意見聴取
【行田市下水道事業運営審議会】

インターネットの利用により公表、
国土交通大臣への報告

※出典：社会資本整備総合交付金交付要綱第10第1項

I 交付金を充てた要素事業の進捗状況

II 事業効果の発現状況

III 評価指標の最終目標値の実現状況

IV 今後の方針

※出典：社会資本整備総合交付金に係る計画等について
(令和3.3.30国官会第28956号)

下水道課所管の社会資本総合整備計画について

	計画の名称	計画の期間	計画の目標
1	『河川がきれいなまちづくり』の実現そのⅡ (重点計画)	令和2年度から令和6年度 (5年間)	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。
2	『生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり』の実現そのⅡ (防災・安全)	平成30年度から令和4年度 (5年間)	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

※今回事後評価

事業概要について（資料②参照）

計画の名称	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現そのII（防災・安全）			
計画の期間	平成30年度～令和4年度（5年間）			
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。			
計画の成果目標 （定量的指標）	①緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づき対策の実施率を16%(H30当初)から100%(H34末)に増加させる。 ②下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率を45%(H30当初)から100%(H34末)に増加させる。 ③下水道施設(ポンプ場)において、ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により、ライフサイクルコストを1.18億円/年縮減する。 ④下水道施設(管渠)において、ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により、ライフサイクルコストを2.74億円/年縮減する。 ⑤地震時において、下水道施設(ポンプ場)における安全衛生機能・避難機能を確保できている割合(耐震化工事(実施設計)実施率)を0%(R4当初)から100%(R4末)に増加させる。			
定量的指標の 定義及び算定式		現況値及び目標値		
	項 目	当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成30年度	平成32年度	平成34年度
	①緑町ポンプ場における長寿命化計画に基づく事業の実施率 長寿命化対策実施済の資産数(資産)/長寿命化対策をすべき資産の数(55資産)	16%	100%	100%
	②下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント作業済項目数(項目)/ストックマネジメント作業済項目(11項目)	45%	100%	100%
	③下水道施設(ポンプ場)におけるストックマネジメント支援事業実施率 ストックマネジメント支援事業実施済のユニット数(ユニット)/ストックマネジメント支援事業をすべきユニット数(81ユニット)	0%	6%	16%
④下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント支援事業実施率 ストックマネジメント支援事業マンホール蓋の安全機能・性能を確保済の個数(箇所)/ストックマネジメント支援事業マンホール蓋の個数(7,146基)	44%	45%	45%	
⑤下水道施設(ポンプ場)における総合地震対策事業実施率 安全衛生機能・避難機能確保のための耐震化工事(詳細設計)実施済ポンプ場数(箇所)/安全衛生機能・避難機能確保のための耐震化工事(詳細設計)をすべきポンプ場数(1箇所)	0%	0%	100%	
要素事業	長寿命化計画、ストックマネジメント計画、総合地震対策計画			

I 交付金を充てた要素事業の進捗状況

番号	要素事業名	事業内容	計画事業費 (千円)	実績事業費 (千円)	進捗状況
①	行田市長寿命化計画 (ポンプ場)	緑町ポンプ場 長寿命化対策工事	288,000	288,000	事業完了
②	行田市下水道ストックマネジメント計画	ストックマネジメント計画 策定	36,000	22,240	事業完了
③	行田市ストックマネジメント 支援事業 (ポンプ場)	谷郷ポンプ場 沈砂池設備改築等	869,000	76,590	事業継続中
④	行田市ストックマネジメント 支援事業 (管渠)	管路施設点検調査、 マンホール蓋改修	156,000	91,339	事業継続中
⑤	行田市総合地震対策事業 (ポンプ場)	谷郷ポンプ場 耐震工事実施設計	30,000	23,300	事業完了
		計	1,379,000	514,621	

Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

① 緑町ポンプ場における長寿命化対策実施率

事業効果の発現状況及び評価指標の最終目標値の実現状況				
評価指標の内容	緑町ポンプ場における長寿命化対策実施率を増加させる。			
数値及び目標達成状況	当初現況値 (平成30年度当初)	最終目標値 (平成34年度末)	実績値 (平成34年度末)	目標達成状況
	16%	100%	100%	達成
	9資産/55資産	55資産/55資産	55資産/55資産	
目標達成状況 に対する所見	<p>長寿命化計画に基づき施設の改築を実施したことで、老朽化に伴う事故の未然防止に寄与できたものとする。</p> <p>※主要な更新設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H28：汚水ポンプ、管理棟床・壁・天井等(9資産) ・ H30：汚水・雨水流入ゲート、アルミフェンス、等(46資産) 			

Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

① 緑町ポンプ場における長寿命化対策実施率 【長寿命化対策工事】



流入ゲート更新前



更新後



アルミフェンス設置前



設置後

Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

② 下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率

事業効果の発現状況及び評価指標の最終目標値の実現状況				
評価指標の内容	下水道施設におけるストックマネジメント計画策定率を増加させる。			
数値及び目標達成状況	当初現況値 (平成30年度当初)	最終目標値 (平成34年度末)	実績値 (平成34年度末)	目標達成状況
	45%	100%	100%	達成
	5項目/11項目	11項目/11項目	11項目/11項目	
目標達成状況 に対する所見	<p>目標どおり「行田市下水道ストックマネジメント計画」を策定したことで、下水道施設を一体的に捉え、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的に点検・調査及び修繕・改築を行うことにより持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図ることができると考える。</p> <p>※業務項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H28：施設情報の収集・整理、リスクの評価、等（3項目） ・ H29：長期的な改築事業のシナリオ設定、点検・調査計画の策定（2項目） ・ H30：点検・調査の実施、修繕・改築計画の策定、等（6項目） 			

Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

③ 下水道施設(ポンプ場)におけるストックマネジメント支援事業実施率

事業効果の発現状況及び評価指標の最終目標値の実現状況				
評価指標の内容	下水道施設（ポンプ場）におけるストックマネジメント支援事業実施率を増加させる。			
数値及び目標達成状況	当初現況値 (平成30年度当初)	最終目標値 (平成34年度末)	実績値 (平成34年度末)	目標達成状況
	0%	16%	0%	未達成
	0ユニット/81ユニット	13ユニット/81ユニット	0ユニット/81ユニット	
目標達成状況 に対する所見	谷郷ポンプ場の耐震化と合わせて、機械設備等の改築を実施することを予定していたが、耐震一次診断の結果から、R3年度に耐震二次診断を実施したため、予定していた事業を完了することができなかった。			

Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

④ 下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント支援事業実施率

事業効果の発現状況及び評価指標の最終目標値の実現状況				
評価指標の内容	下水道施設（管渠）におけるストックマネジメント支援事業実施率を増加させる。			
数値及び目標達成状況	当初現況値 (平成30年度当初)	最終目標値 (平成34年度末)	実績値 (平成34年度末)	目標達成状況
	44%	45%	47%	達成
	3,175基/7,146基	3,215基/7,146基	3,286基/7,146基	
目標達成状況 に対する所見	<p>マンホール点検結果に基づき予算を確保し、効率的な事業の執行に努めたことで、目標を達成することができた。</p> <p>これにより、安全機能を確保したマンホール蓋に改築したことで、未然の事故防止に寄与できたと考える。</p> <p>※マンホール蓋改修実績 ・ R1：32基 ・ R2：20基 ・ R3：19基 ・ R4：40基</p>			

Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

④ 下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント支援事業実施率 【マンホール蓋改修工事】



Ⅱ 事業効果の発現状況 及び Ⅲ 評価指標の最終目標値の実現状況

⑤ 下水道施設(ポンプ場)における総合地震対策事業実施率

事業効果の発現状況及び評価指標の最終目標値の実現状況				
評価指標の内容	下水道施設（ポンプ場）における総合地震対策事業実施率を増加させる。			
数値及び目標達成状況	当初現況値 (平成30年度当初)	最終目標値 (平成34年度末)	実績値 (平成34年度末)	目標達成状況
	0%	100%	100%	達成
	0施設/1施設	1施設/1施設	1施設/1施設	
目標達成状況 に対する所見	<p>谷郷ポンプ場の耐震診断の結果を以て、耐震化を図るための実施設計を予定どおり作成することができた。</p> <p>これにより、機械設備等の改築と合わせて実施予定である耐震化工事についても実施準備が整った。</p>			

IV 今後の方針（資料③参照）

下水道施設の計画的・効率的な維持管理を行い、
持続的な下水道機能を確保し、
ライフサイクルコストの低減を図る

計画の名称：

「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現そのⅢ（防災・安全）

- 計画の期間：令和5年度から令和9年度（5年間）
- 計画の目標：下水道施設の計画的な維持管理、改築・更新を行い、持続的な下水道機能を確保し、安心・安全で快適なまちづくりを実現する。
- 実施事業：
 - ①第Ⅱ期ストックマネジメント計画の策定
 - ②ストックマネジメント計画に基づくポンプ場施設の改築更新
 - ③ストックマネジメント計画に基づく管路施設の点検・調査
 - ④ストックマネジメント計画に基づくマンホール蓋の改築更新
 - ⑤下水道施設情報・維持管理情報のデジタル化

IV 今後の方針（資料④参照）

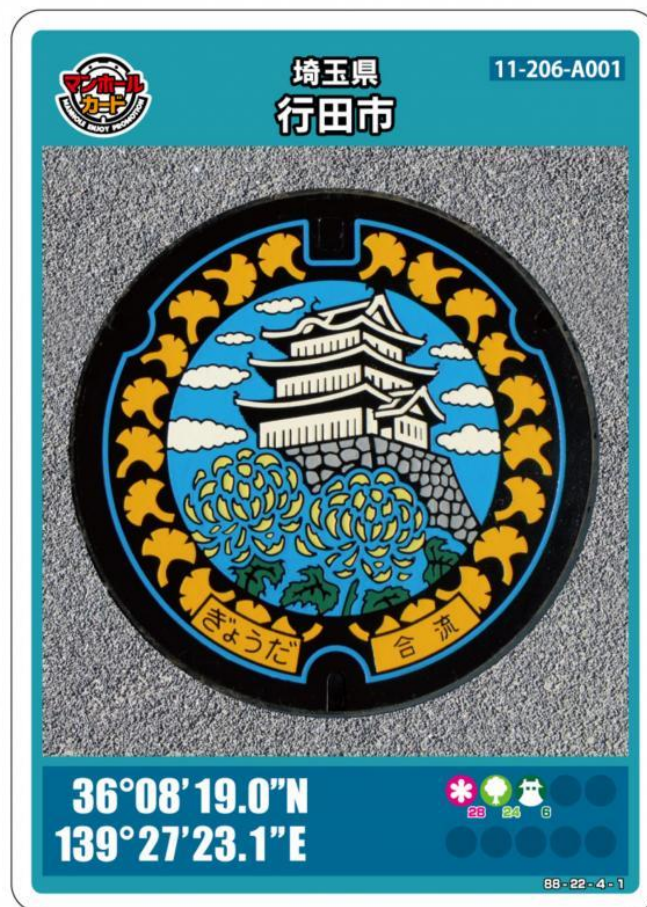
下水道施設の耐震化を図る「防災」 被害の最小化を図る「減災」 総合的な地震対策を推進する

計画の名称：

「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現(防災・安全)(重点計画)

- 計画の期間：令和6年度から令和9年度（4年間）
- 計画の目標：下水道施設の計画的な地震対策を行い、持続的な下水道機能を確保し、安心・安全で快適なまちづくりを実現する。
- 実施事業：①総合地震対策事業に基づくポンプ場施設の耐震化
②総合地震対策事業に基づくポンプ場施設の耐震診断の実施
③総合地震対策事業に基づく管路施設の耐震化

社会資本総合整備計画の事後評価について



ご清聴ありがとうございました。